

スポーツ庁委託事業

「Special プロジェクト 2020」

(特別支援学校等を活用した障害者スポーツの拠点づくり事業)

平成 30 年度成果報告書

滋賀県

1. 経緯

近年、滋賀県内の障害者スポーツ大会参加者は高齢化し、参加者数は減少傾向にある。その背景には、余暇の多様化とともに福祉サービスをはじめ、就労機会が拡大されてきたことが考えられる。余暇の選択肢が増え、就労での社会参加が一般的になってきたことを喜ぶ一方で、障害のある人の運動機会が一般成人に比べ低いことも笹川スポーツ財団「地域における障害者スポーツ普及促進事業」（2016）の調査で明らかになっている。

平成 28 年度にスポーツ庁「特別支援学校等を活用した障害児・者のスポーツ活動実践事業」を受託し、パラスポーツチャレンジプロジェクトの事業名で休日に特別支援学校を地域開放し、知的障害者を対象にスポーツ教室を開催するとともに、県内に知的障害の活動チームがないバレーボール競技に着目し、チーム作りに取り組み始めた。平成 29 年には、バレーボールチームの創出に目途がたち、競技性が求められることから、平成 30 年度は障害のある人ない人が気軽に親しめるスポーツ教室に特化した事業とし、地域におけるスポーツの拠点づくりを目標に事業を実施し、この事業を継続して実施していくための事業主体や人材の確保、財源の担保について課題を整理した。

具体的には、教室開催までの準備として、県内の障害者スポーツ関係者や当事者団体で運営委員会を組織し、手をつなぐ育成会や県立障害者施設、地元社会福祉協議会や作業所に協力いただき事業の実施協力、周知を行った。

また教室開催に際しては、総合型地域スポーツクラブのスタッフが障害者理解を深めながら、軽スポーツの運営に携わり、障害のある人ない人誰もが親しめるニュースポーツや地域を活かしたスポーツ活動が行えるように配慮した。また、周知に関しては、事前に取り組む内容を参加者に知らせることで、イメージや興味・関心を持たせるような工夫を行った。

しかし一方で、一定の参加者は確保できたものの、新規の参加者が増えなかったこと、また、永続的に事業を継続するための財源や参加者の障害の程度に応じた指導者やスタッフなどの人材の確保が必要であった。地域に開かれた障害者スポーツの拠点としていくためにさらに、事業の工夫や検討を進める必要がある。

2. 目的

本事業では、県内特別支援学校のうち 1 校を対象として、休日に体育施設を地域に開放し、近隣の障害者、その保護者やスポーツ関係者を交えたスポーツ活動が定期的の実施できるよう試み、在学中、卒業後も当事者が慣れ親しんだ環境でスポーツを継続的に実施することができる環境づくりを目指した。

3. 実績

- ・軽スポーツ教室は、知的障害者を対象に全 6 回実施した。
- ・教室の概要（参加者のべ 143 人） （*1） 軽スポーツ教室の実施概要
- ・スタッフは、総合型地域スポーツクラブを中心に、障がい者スポーツ指導員に協力を依頼した。
- ・事業の実施体制については、パラスポーツチャレンジプロジェクト実行委員会を組織し、特別支援学校を拠点とするスポーツ活動の場を作るため、スポーツ教室の運営について全 4 回実施した。

- この委員の構成は、進捗管理やスポーツ教室の運営に幅広い意見がもらえるよう、特別支援学校、滋賀県障害者スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ、手をつなぐ育成会、滋賀県障がい者スポーツ指導者協議会、県立障害者施設、滋賀県県民生活部スポーツ局（事務局）とした。

(*2) パラスポーツチャレンジプロジェクト実行委員会

(*3) 実施日程表

*1 軽スポーツ教室の実施概要

教室	参加人数	指導者数	内容
第1回	23人	10人	・カローリング ・風船当てドッジビー
第2回	20人	6人	・輪投げ ・スポーツ吹き矢
第3回	30人	15人	・ボッチャ ・おじゃビンゴ
第4回	29人	7人	・ビンゴボール
第5回	11人	6人	・きばれえ ・キンボール遊び
第6回	30人	7人	・フラフープ ・パラシュット

*2 平成30年度パラスポーツチャレンジプロジェクト実行委員会



No.	所属団体
1	滋賀県立三雲養護学校
2	滋賀県障がい者スポーツ指導者協議会
3	湖南市ちょいスポクラブ
4	公益財団法人湖南市文化体育振興事業団
5	湖南市手をつなぐ親の会
6	甲賀市手をつなぐ育成会
7	滋賀県立近江学園
8	滋賀県障害者スポーツ協会

*3 実施日程表

実施時期	計画事項		備考 (実行委員会の内容)
	(1) 実行委員会	(2) スポーツ教室	
7月			教室実施に向けての打ち合わせ
8月	第1回		事業目的・計画共有
9月		第1回	
10月		第2回	
11月	第2回	第3回	事業視察・アンケート実施
12月		第4回	
1月	第3回	第5回	進捗確認・課題等の情報共有
2月	第4回	第6回	総括・今後に向けての課題整理
3月			

4. 効果

- ・今年度は、初回から一定の参加者を確保することができ、これまでの継続性が見られた。
- ・指導や支援するスタッフの障害者に対するかかわり方が、自然な感じになるなど障害者への理解が深まった。
- ・毎回、実際に取り組むメニューを案内することで、参加者に期待を持たせることができた。
- ・地域で親しまれるスポーツを取り入れることで、地域の人と親しみやすい交流の場を創出できた。
- ・実行委員会に、障害者に携わる福祉団体や障害者スポーツに携わる団体に参画いただくことで、障害者へのかかわり方やスポーツの指導方法や内容設定、事業の周知の方法や場所など様々な助言をいただく中で、ネットワークの構築に生かすことができた。

5. 課題

- ・一定の参加者の確保はできたが、新規の参加者が少なかった。
- ・参加は当日自由参加としたため、参加者の実態が当日にしかわからなかった。
- ・障害の程度の幅が大きく、実施メニューや運動強度の設定が難しかった。
- ・都市部ではないため、会場までのアクセスが悪い。
- ・事業主体者の財源やスタッフの確保が必要。

6. 今後

- ・新規の参加者を確保するために、施設を開放いただいている特別支援学校の部活動等の体育的活動に指導者派遣をし、軽スポーツ教室への参加を促す。
- ・参加者より保険料程度の参加費の徴収の検討をする。
- ・参加者の障害の程度や興味・関心等を考慮した内容の設定を検討する。
- ・スタッフの増員を図り、障害理解をさらに深め、参加者個々に応じたかかわり方を養う。
- ・市町などの地域で、障害者がスポーツに親しめる環境づくりを広げるために様々な方への啓発活動を検討する。

參考資料

パラ スポーツチャレンジデー

うれしい、たのしい、だい好きスポーツ！
スポーツ吹き矢や、はじめてのあそびを体験しよう！

日時 9月29日 10月13日 11月10日
12月22日 1月19日 2月16日

〈全6回・毎回土曜日〉

午前10時～午前11時30分

会場

はんいつみくもようごがっこうたいいっかん
県立三雲養護学校体育館
〔滋賀県湖南市柑子袋1546〕

参加費

むりよう
無料です！

対象

知的障がい者(保護者、お友達も一緒に来てね！)

申込

とうじつうけつけ
当日受付

ふくとう うわはき じさん
※当日は動きやすい服装で上履きを持参ください。



(連絡先)

湖南市総合体育館

TEL 0748-72-4990

Fax 0748-72-7117

主催 (公財)湖南市文化体育振興事業団&湖南市ちよいスポクラブ
パラスポーツチャレンジプロジェクト・滋賀県競技力向上対策本部

パラスポーツチャレンジ



日時 9月29日、10月13日、11月10日
12月22日、1月19日、2月16日
<全6回>

☆午前10時～午前11時30分

場所 三雲養護学校体育館

参加費 無料

申込 当日受付

パラスポーツチャレンジ



日時 9月29日、10月13日、11月10日
12月22日、1月19日、2月16日
<全6回>

☆午前10時～午前11時30分

場所 三雲養護学校体育館

参加費 無料

申込 当日受付

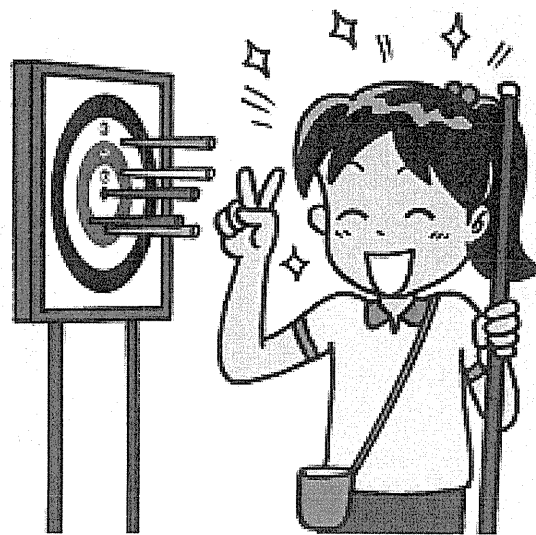
9月29日はカローリングです!



カローリングは、氷上で行うカーリングをフロアで手軽にできるように考えられた、まったく新しいスポーツ。1チーム6個のジェットローラーを、コート先端にある直径90cmのポイントゾーンに向け、相手チームのプレイヤーとジェットローラーを交互に走行してぶつけ合い、得点を競うゲーム。特別な技、術も力も必要としないので、子どもから高齢者まで手軽に楽しめるスポーツです。

主催 (公財)湖南省文化体育振興事業団&湖南省ちゅいスポクラブ
パラスポーツチャレンジプロジェクト・滋賀県競技力向上対策本部

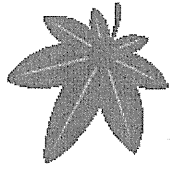
10月13日はスポーツ吹き矢です!



スポーツ吹き矢は、5~10m離れた円形の的をめがけて息を使って矢を放ち、その得点を競うスポーツです。性別・年齢問わず誰でも手軽にでき、ゲーム感覚で楽しみながら健康になれるスポーツとして注目されています。

主催 (公財)湖南省文化体育振興事業団&湖南省ちゅいスポクラブ
パラスポーツチャレンジプロジェクト・滋賀県競技力向上対策本部

パラスポーツチャレンジ



日時 9月29日、10月13日、11月10日
12月22日、1月19日、2月16日

<全6回>

☆午前10時～午前11時30分

場所 三雲養護学校体育館

参加費 無料

申込 当日受付

パラスポーツチャレンジ



日時 9月29日、10月13日、11月10日
12月22日、1月19日、2月16日

<全6回>

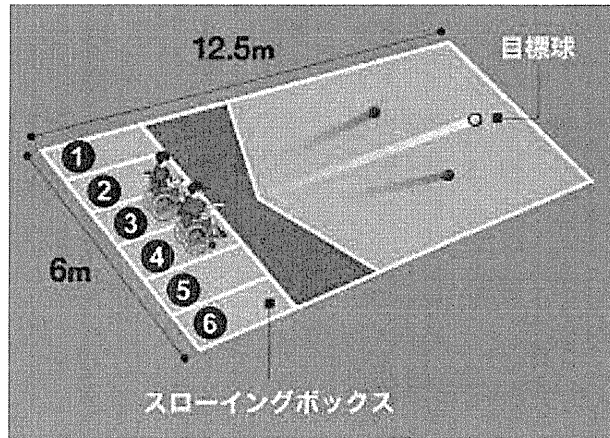
☆午前10時～午前11時30分

場所 三雲養護学校体育館

参加費 無料

申込 当日受付

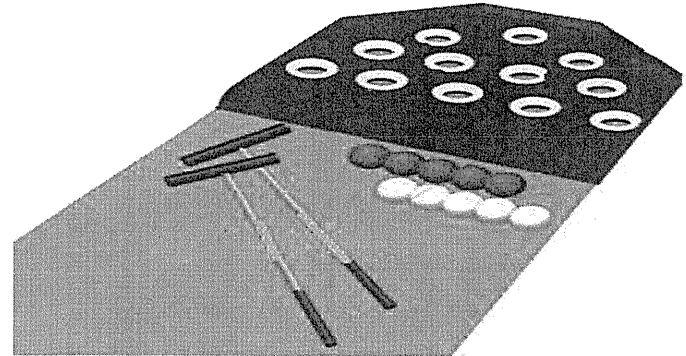
11月10日はポッチャです!



パラリンピックの正式種目。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

主催 (公財)湖南省文化体育振興事業団&湖南省ちよいスポクラブ
パラスポーツチャレンジプロジェクト・滋賀県競技力向上対策本部

12月22日はビンゴボールです!



湖南省老ク連が考案のニュースポーツです。
ボードのホールめがけてボールをショット!
みごとボールが並べばビンゴ達成です。

主催 (公財)湖南省文化体育振興事業団&湖南省ちよいスポクラブ
パラスポーツチャレンジプロジェクト・滋賀県競技力向上対策本部

パラスポーツチャレンジ



日時 9月29日、10月13日、11月10日
12月22日、1月19日、2月16日

<全6回>

☆午前10時～午前11時30分

場所 三雲養護学校体育館

参加費 無料

申込 当日受付

パラスポーツチャレンジ

日時 9月29日、10月13日、11月10日
12月22日、1月19日、2月16日

<全6回>

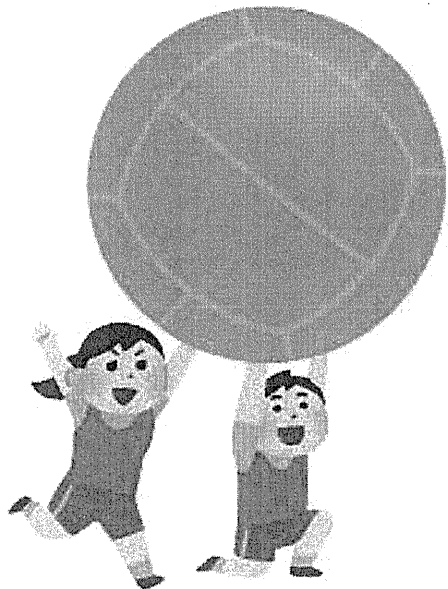
☆午前10時～午前11時30分

場所 三雲養護学校体育館

参加費 無料

申込 当日受付

1月19日は“きばれえ”です!

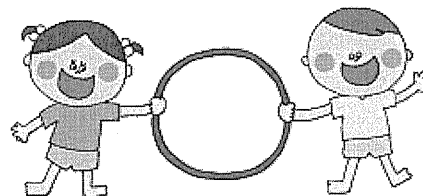
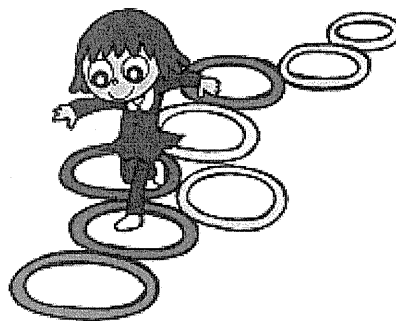


“きばれえ”は、甲南町で考案された大きなボールをつかったバレーボール。チームの力を合わせないと上手くプレーできません。

そのほか、大きなボールを使った遊びを楽しみます。

主催 (公財)湖南省文化体育振興事業団&湖南省ちみいスポクラブ
パラスポーツチャレンジプロジェクト・滋賀県競技力向上対策本部

2月16日は“フラフープ”です!



みんなが知っている“フラフープ”、腰で回して、手で回して、全身とおして、みんなで追いかけてっこなど、いろいろ遊んじゃいます!

主催 (公財)湖南省文化体育振興事業団&湖南省ちみいスポクラブ
パラスポーツチャレンジプロジェクト・滋賀県競技力向上対策本部

平成 30 年度 パラスポーツチャレンジプロジェクト実行委員会
スポーツ教室視察【アンケートのまとめ】

■ 概要

- 1 教室実施日時：平成 30 年 11 月 10 日(土) 10:00 ～ 11:30
- 2 参加者数：約 30 名 うち障害者約 20 名
- 3 スタッフ数：6名
- 4 実行委員数：7名
- 5 内容：
準備運動、ボッチャ、おじゃびんご、整理体操

■ アンケートのまとめ（※ _____ 部は課題）

1 参加人数について(多い・少ない・ちょうどいい など)

- ・今日の内容(ボッチャ、おじゃびんご)ならちょうどいい。
- ・ある程度の人数がいると楽しく盛り上がる。
- ・3 回目では多い方。
- ・スタッフの人数で対応できるので、運営としてはちょうどいい。
- ・地域の方、作業所から計 19 名が集まり、楽しめる人数であった。
- ・新規の方の参加が欲しい。
- ・ちょうどいい人数であった。3

2 参加者の様子について

- ・とても楽しそう。元気でいい。
- ・生き活きて、私自身元気をもらいました。
- ・保護者、介助者、スタッフが一緒に楽しめる雰囲気が素晴らしい。
- ・参加者が慣れているから、スタッフの対応もよく、楽しそうに感じる。
- ・知らないスポーツを知ること、そのスポーツの楽しさを感じることができるスポーツでとてもよかった。
- ・拍手したり、声上がるなど楽しそう。
- ・チームでのゲームは一喜一憂しながらも、みんながかかわっていたと思う。

3 活動内容について(難しい、ちょうどいい など)

- ・軽スポーツすごくいいと思います。なかなか体験できないこと。
- ・ルールもありながらも、適宜対応いただけて良かった。
- ・分かりやすい内容であった。
- ・理解しやすくちょうどいい。2

- ・ボッチャ、おじゃビンゴなど簡単ルールで参加者の理解も得られたと思う。
- ・楽しくできた。
- ・私たちもほとんどが理解できた内容。

4 スタッフについて(人数、障害者へのかかわり方 など)

- ・さすがでした。素晴らしいスタッフの皆さんでした。
- ・できる範囲のことで、協力いただいている。
- ・優しく、誠意ある態度で良かった。
- ・スタッフが慣れてきておられるので、進行、個々のかかわりも安心できた。
- ・盛り上げも上手。
- ・声かけは多くしていただいた。
- ・声かけ以外の誘導や指示があれば、わかりやすい人もあったと思う。
- ・盛り上げ方や接し方が丁寧ですごくよかった。
- ・子どもたちもわかりやすかったと思う。

5 会場について(広さや立地条件 など)

- ・適当6
- ・内容によっては、考える必要がある。
- ・会場までのアクセスに難がある。

6 事業を継続していくために必要なことや課題(利用者の活動費徴収など)

- ・どれだけの費用が事業継続に必要なかわからないが、多少の参加費(年間費)は徴収してもよいと思う。練習会の向上にもなると思う。
- ・場所の周知。
- ・参加費に保険料(少額での)を入れてはどうか。2
- ・開催経費(金銭面)。
- ・新規参加者の獲得。
- ・備品をそろえる。

7 その他(ご意見・ご感想)をお聞かせください。

- ・楽しく活動できる工夫。
音楽での盛り上げ(休憩中の音楽など)、ラジオ体操など(ルーティーンと補助運動)
- ・楽しかったです。次回も参加します。